発行者名 採択基準	東京書籍(新編 新しい地図帳)
1 教科の目標からの配慮	・ 地図に親しみ、我が国の国土や世界の地理的環境について様々な 視点で捉えられるよう工夫されている。・ テーマ別の資料地図、統計資料等から各学年の学習内容に応じて 社会的事象の特色を多角的に考察できるように配慮されている。・ 発展的な学びにつながる問いかけにより、地図帳を活用して、課 題を発見し解決できるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、とした。表現、さし絵、写真、図表、配色、トラスト等	 (1) 日本の地方図は8地方に主要地域の地図が加えられており、重要な地名・産物・史跡等についてイラストを交えて表記し、文字に縁取りを多用するなど読み取りやすく工夫されている。 (2) 統計資料や写真を用いた主題図が掲載され、キャラクターによる着眼点の示唆や囲み枠内の問題提示があり、地図をもとに具体的に追究ができるように工夫されている。 (3) 地方図では陰影を抑え、地名や地図記号、産物や史跡などのイラストなどが見やすくなるよう工夫され、親しみやすく学習できるように配慮がされている。 (4) 写真・イラスト・資料・地図等は、最新のデータに更新されている。鮮やかで見やすい写真やイラスト、グラフなどの資料を多く使用し、各地の様子や産物の分かりやすさに配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的 な知識及び技能の習 得」のための工夫、「思考力、 表現力等の方が、「夢では、人のでは、一方での下ででは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一	 (1) 日本の歴史と世界との関わりを示すページや日本の伝統文化に関するページを用意するなど、各学年や他教科の学習活動に効果的に使用できるよう配慮されている。 (2) 写真資料と共に気候や地形の主題図を載せたり、年表にある出来事の地理的な位置を明示したりするなど、地図と資料、写真を関連付けながら学べるように配慮されている。 (3) 日本の自然災害の要因や最新の防災対策について巻末見開きに取り上げたり、都市部の人口移動について掲載したりして、社会の課題を広い視野から捉えられるように配慮されている。 (4) 地球儀の使い方を学ぶページでは、実際に地球儀を操作している写真を多く用い、具体的な操作方法のイメージをもたせながら、指導ができるように工夫されている。
4 全体的な特色	・ 地名や地図記号などが見やすく工夫され、鮮明な写真やイラストで親しみながら地図帳を活用できるよう配慮されている。・ 各学年の学習内容や他教科との関連が配慮され、補助資料になるよう工夫されている。

発行者名 採択基準	帝国書院(楽しく学ぶ小学生の地図帳)
1 教科の目標からの配慮	 ・ 資料活用力を高め、基礎的な読図技能とその活用を図りながら国土に対する地理的理解を深められるように工夫されている。 ・ 現代社会の課題に関する地図や資料が用意されており、課題の解決に向けた選択や判断をする力が付くよう配慮されている。 ・ 位置や空間的な広がりに着目させる問いかけにより、地図帳を活用した主体的な学びにつながるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、トラスト等	 (1) 日本の地方図は8地方に主要地域の地図や主題図が加えられており、重要な地域の地名・産物・史跡等についてイラストを交えて表記し、正しく読み取れるように工夫されている。 (2) 統計資料やグラフが掲載され、問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置しており、地図帳をもとに進んでテーマ学習ができるように工夫されている。 (3) それぞれの地形図が全体的に鮮明な色調でまとめられており、地形の様子が分かりやすいように工夫され、親しみやすく学習できるように配慮がされている。 (4) 写真・イラスト・資料・地図等は、最新データに更新されている。立体感のある地図表現で、地形の様子が分かりやすくなっており、3学年向けに記載内容を精選した地図が用意されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・超材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的 な知識をある。 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「基礎のでは、 「表現のでは、 「思力のでは、 「のでは、 「のでは、 「のいるでは、 できる。 「という。」 「は、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	 (1) 歴史学習につながるテーマ地図が用意され、地図上に重要な文化財が示されるなど、各学年や他教科でも効果的に活用することができるよう配慮されている。 (2) 土地の高さによる色分けと、土地利用による色分けがなされた地図表現により、関連した考察が可能になり、地域の特色をとらえやすいよう工夫されている。 (3) 持続可能な社会の実現に向け、SDGsに関連する資料や、自然災害と防災についての主題図が用意されており、現代社会の課題に対する意識が高められるよう配慮されている。 (4) 地形図の成り立ちや地図記号の理解、索引の引き方など、地図帳の使い方に関する内容が冒頭で丁寧に扱われており、基礎的な地図活用の指導ができるように工夫されている。
4 全体的な特色	・ 立体感のある地図表現で、地形や土地利用が把握しやすく、地図や資料の活用能力を高められるように配慮されている。・ 発達段階に応じた学習に対応できるよう配慮され、学年に応じた活用ができるように工夫されている。